

## 学習会&お花見盛大に開催される

**仙台地本福島県(4/9)・宮城県支部(4/16)で開催!**

JR イーストユニオン仙台地本内の福島県支部と宮城県支部が学習会&お花見会(観桜会)を盛大に開催した。福島県支部は4月10日、磐越西線の喜久田駅近くの藤田川河川敷の「ふれあい桜」で開催された。準備には支部内郡山在住の組合員と郡山駅OBで藤田川の近くに実家がある長沼さんが担当し、福島・郡山・会津若松在住の組合員や知人、地本OB会の安西さんや半沢さん、仙台から来た添田執行委員、東京地本で郡山車両セクターにいる大和田さん等、総勢20名で開催された。当日は桜が満開で天気にも恵まれ、河川敷内の場所は自由、桜の下で組合や会社のこと、人生感等ついて語り合い大いに盛り上がりました。その後、長沼さんの実家に場所を移し二次会を行い、来年も実施することを全員で約束し終了した。



挨拶する佐藤委員長



宮城県支部の学習会&観桜会は4月16日

実施され、一部の「安全学習会」は宮城野中央市民センター会議室で、組合員・知人・OB等約35名が参加した。支部を代表して青田支部長が挨拶し、本日花見の前に学習会が開催出来たことは支部として大変意義深い、いま仙台駅で駅業務委託がストップしている。事故の連鎖も収まらない、ぜひ学習をしてもらいたいと挨拶した。その後、JR連合の仲間



で本庄JR西労組中央執行委員の講演会が開催された。演題は1.「JR福知山線列車重大事故」(2005年4月25日発生)、2.「国鉄改革とJR発足まで」で、特にJR福知山線の事故は事故時取組み、その後の会社



や組合対応、現在のJR西日本の考え等を詳しく話していただき、「絶対事故は起さない会社風土」・「歴史を振り返り責任ある未来につなげよう」と力強く話しました。花見は「榴ヶ岡公演」に場所を移し行われた。朝から場所取りの組合員が頑張り絶好の場所が確保され、盛大に行われ組合員相互の友情と親睦を図りました。